

この人

ながいながよし
長井長義

ロマンと情熱に生きた薬学の父

のはら
原博武

目

次



プロローグ	7
第一章 生い立ち・長崎留学の途につく	11
第二章 長崎日記	21
第三章 江戸で蘭学を学び、医学を修業	37
第四章 アメリカを經由してドイツへ 第一部	47
明治四年欧米見聞書翰 その一	
サンフランシスコからニューヨークへ	
両親への手紙 アメリカ大陸横断	53
原文書翰第一、第二 口語で要約	
第五章 アメリカを經由してドイツへ 第二部	83
明治四年欧米見聞書翰 その二	
ロンドンを経てフランクフルトへ	
両親への手紙 ヨーロッパに渡つて	85
原文書翰第三、第四 口語で要約	
第六章 ベルリンに着いて	109
ウイルヘルム・ホフマン教授の助手に	
第七章 テレーゼとの運命的な出会い	131
第八章 薬事行政と薬学の近代化に取り掛かる	139

第九章 テレーゼとの結婚成就
 女子教育に懸ける情熱……………149

第十章 日独文化の礎となつて…
 薬学研究、薬剤師教育への貢献……………165

エピソード……………177
 所縁のアルバム……………183

年表
 索引
 謝辞
 奥付

レイアウト…芳野美穂子

プロローグ

風雲急を告げる幕末、弘化二年（1845）、長井長義は徳島藩の典医の家に生まれた。優れた才能が見出された彼は、慶応二年（1866）藩の命によって長崎に留学、蘭学を修業した。つづいて江戸に赴き、大学東校（東京大学医学部の前身）で医学を学び、明治四年（1871）、政府の第一回海外留学生に選ばれた。アメリカを経てヨーロッパに渡り、ベルリン大学に入学、医学の志望を化学に変えた長井は、明治十二年（1879）ホフマン教授の化学教室の助手に抜擢された。

当時我が国の薬学、薬業関係者は近代化を急ぎ、西欧の科学・技術導入の道を模索していた。すでに滞独十年を越え、現地で地位を得て研究生活を送っていた長井に白羽の矢が立ち、国内の指導者は揃って彼の帰国を要請した。長井は遂にこれを受諾、久々に日本に戻って東京大学教授の任に就いた。西欧の最新の化学、薬学教育・研究システムを我が国で構築すべく、全力を傾注した。また我が国の薬事行政、製薬事業の基礎を固めるために活躍した。

長井長義の輝かしい研究業績は、漢方薬マオウの成分、エフェドリンの発見である。

気管支喘息の治療に欠かせない医薬品を創製、西洋医学の新しい治療法を確立して、漢方に依存した東洋の医療との橋渡しに成功した。

長井はドイツの大学で職を得、ベルリンでの滞在はすでに十三年にもなっていた。明治十六年（1883）ライン河に沿ったホテルで、あどけないドイツ娘を見初めて突然恋をする。娘の名前は「テレゼ・シューマッハ」、ライン河を下ってコブレンツで合流する支流モーゼルの流域に、アンダーナツハという町があるが、シューマッハ家はその町で石材業と運送業を営む旧家である。

熱い想いを寄せつつ、夢中になってライン河に沿って、右往左往しつつ、必死に娘を追いかけた。このロマンスは、長井が東大教授となつてから、再渡独して実を結び、ようやく結婚に漕ぎ着けたのであった。

当時は武蔵野の直中ただなかに在った東京渋谷の邸宅で、長井は夫人テレゼとともに日独の文化交流に励み、また夫妻は女子の高等教育にも献身的な努力を傾けた。

長井は現在の東京大学薬学部の教育、研究基盤をつくり、いまでは会員数二万人にも達した（社団法人）日本薬学会の先頭に立つて活動した。

彼は筆まめで、明治四年初めて米欧に渡航したさい、旅行中の見聞を、詳しく両親宛てて書き送っている。その書翰には、鎖国時代の侍が突然西欧の文化に触れ、近代の新しいサイエンス・テクノロジーに曝されたドラマが語られていて楽しいが、現代社会で日々を送るものにとつて、先人が格闘する有様は新鮮な感動となり、歴史の重さを痛感させて止まない。

薬学の開祖、薬学の父としての長井長義の生涯を振り返ってみよう。

奥付

の原 博武（のはらひろむ） 著者のペンネーム

本名：原 昭一

東京大学薬学部卒業、薬学博士、専攻「薬化学」

東京薬科大学名誉教授、現在「分子不斉研究機構」の会長を務める。

日本薬学会奨励賞、国際賞「ツェットメダル」を受賞

一九九三年紫綬褒章を受賞

この人 長井長義

2008年12月22日 第一版発行

著者の原 博武

発行所：株 小坂メンタリエンティブ

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-9-5

TEL: 03-3813-7937/FAX: 03-3814-9111

URL: <http://shutoken.camelfanet.com/>

発売：ブックリンク

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11

TEL: 03-5840-8497/FAX: 03-3814-4090

URL: <http://www.book-link.co.jp/>

印刷・製本：株式会社ミナノ

CREATIVE BOOK

首都圏人 第9号

編集人：NPO 市民フォーラム

Advisory Board: 西川良治 / 大石 武 / 岡田洋介 / 深瀬 克

ISBN : 978-4-8354-8092-3 C0023

Printed in Japan